

三見お宝の里

マップ

サンサン

資源・特産品



干しわかめ

冬から春の三見漁港内は、わかめを干した磯の香りが一杯です。三見の磯で採れた「わかめ」の味は最高です。



明石パーキング道の駅(予定)からの日本海

前方に広がる日本海は、遠近に浮かぶ島々、行き交う船影、西海に沈む夕日、四季の漁火など、まさに、北長門海岸国定公園の絶景です。道の駅(予定)では、食事を楽しみながら、この日本海を満喫できますよ。



ブロッコリー畑

中央地区ではブロッコリーの栽培が盛んです。ビタミンB、ビタミンC、カロチンや鉄分を豊富に含む栄養豊富な緑黄色野菜です。



けんさきいかの一番すめ



西条柿畑



びわ畑



みがきたまねぎ畑



青空市場

売店



ささえ

みそ

なすのからしづけ



瀬つきあじ



お漬物



押し寿司



つみれすまし汁



びわ寒天



ブロッコリー三杯酢

農林水産物ごよみ



「三見お宝の里」の案内人

●三位ふるさと史の会 (お問い合わせ先: 中村 0838-27-0298)
平成3年に発足した会で、三見の歴史・文化財・史跡などを学び、保護・伝承に努めています。また、来訪者の現地案内にも対応いたします。

●三見シーマザーズ (お問い合わせ先: 三見公民館)
漁協女性部のグループが、魚食普及を目指し「瀬つきアジの押し寿司(やまぐち農山漁村女性起業統一ブランド認定品)」など、新鮮な魚を使った郷土料理の販売や料理教室を開催し魚のさばき方を教えています。

お問い合わせ先: 三見公民館 TEL 0838-27-0004

●(農)ファームさんみ (お問い合わせ先: 三見公民館)
平成19年3月、地域の農地を守るために設立した農業組合法人で、エコファーマーにも認定され、安心・安全な農産物の生産や野菜(ブロッコリー)の直売り体験もっています。

●(株)明石インター直売所 (お問い合わせ先: 三見公民館)
新鮮で、安心・安全な農林水産物、加工品、北長門海岸国定公園の絶景が眺望できるレストランなど、三見の山・海・里の幸すべてを提供します。五感で三見を味わってください。

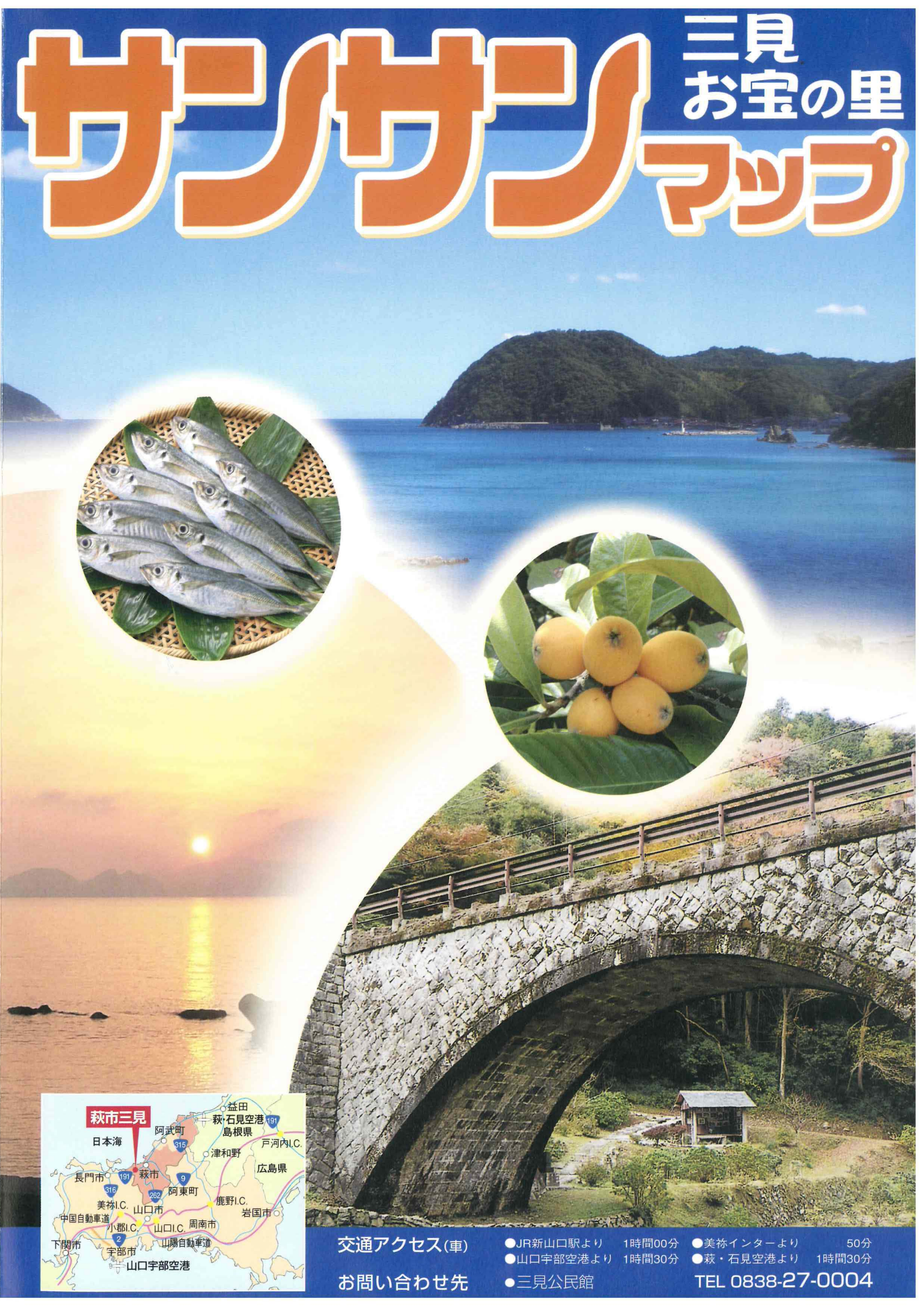
●婦人会「わかば」グループ (お問い合わせ先: 三見公民館)
三见到古くから伝わる郷土料理「押し寿司」を伝承しつつ、地産・地消を活かしたレシピで新しい味にもチャレンジしています。イベントではおもてなしの心でお客様をお迎えし、仲間づくりをしています。



交通アクセス(車)

お問い合わせ先

- JR新山口駅より 1時間00分
- 山口宇部空港より 1時間30分
- 美祿インターより 50分
- 萩・石見空港より 1時間30分
- 三見公民館 TEL 0838-27-0004





1 吉広のバクチノキ
 県指定の天然記念物で樹齢は約90年の大樹です。森様の御神木で勝負事にご利益があり、今も樹皮をそって持ち帰る人が後をたちません。



2 三見公民館の陶壁画
 秋焼作家・故12代坂高麗左衛門さんの作です。朝日に丹頭鶴の親鳥17羽、ヒナ2羽のデザインは、三見の繁栄を願っています。



3 金峯神社
 中世にあった古刹多寺の鎮守社です。大内時代は社領500石を受けました。明治3年頃、蔵王権現宮から金峯神社に改称しました。



4 三見の神楽舞
 秋の収穫を終えると、感謝祭が行われ神楽舞が奉納されます。現在、床並・手水川・中山の3地区に民俗芸能として伝承されています。



5 旧宿駅町三見市
 旧赤間関街道沿いにある三見市には、馬が31頭、宿屋が31軒ありました。今も格子戸のある貴重な家が残っています。



6 三見市の仁王様
 仁王像は手水川の蔵王権現の守護神で、約500年前の作です。享保19年(1734)、秋第六代藩主宗広公の痲瘡を治した痲瘡の神です。



7 明神社・海神社
 明神は船の航海安全の神で、広島厳島神社の孫神です。海神は海の神である龍宮様で、仙毒の幕岩の下におられます。



8 明石公会堂
 昭和元年に建てられた洋風建築です。当時の田舎では大変珍しい建築法で、山口県の近代化遺産として推薦されています。



9 三見橋(通称眼鏡橋)
 大正3年(1914)に建設された、県下唯一最大規模の単一アーチ型石橋で、平成10年に国の登録有形文化財になりました。迫石545個を積んで構成した見事なアーチです。周回には自然公園で、桜・アジサイ・ツツジ・しゃくなげなどの花でいっぱいです。



10 旧飯井分校(現・飯井公民館)
 旧飯井分校からは、元文部科学大臣河村建夫氏政治一家を輩出しました。昭和39年飯井駅が開設され、同校は廃止されました。



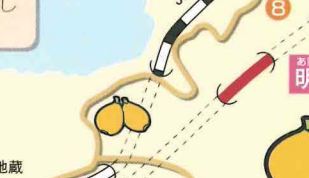
11 三見の萩焼窯元
 三見には萩焼窯元が3軒あります。
 ①萩焼作家・松林庵(中山)
 ②萩焼作家・不易庵(河内)
 ③新進陶芸家・金子司薫(畦田)



12 三見の盆踊り エーサ節
 三見に古くから伝わるエーサ節を、昭和56年にレコード化し、三見地区盆踊り大会で踊り継がれている三見の民俗芸能です。



13 三見川ホルタルの里
 公民館と三田八幡宮前の三見川は、三見ホルタルの里です。5月下旬から6月上旬頃、ホルタルの乱舞は20時半頃が最高潮に達します。



14 河内桜公園(六島の見える景勝地)
 平成16年12月に染井吉野・陽光・関山(八重枝)150本を移植。花見もすばらしいが、眼下に鶴島と六島を見渡すことができる景勝地です。



15 神秘の花 竜舌蘭
 畦田上野さんの石垣に植栽後約40年の巨大な竜舌蘭が見えます。開花に60年を要すとか…花茎高さ数メートルとなる神秘の開花は何時?



16 三田八幡宮
 旧郷社三見八幡宮は、旧三見村・旧山田村の氏神様です。昭和22年に三見の「三」と山田の「田」をとって、三田八幡宮に改称されました。



17 シーボルトコギセル貝
 八幡宮境内の楠木に珍しい陸貝がいます。昔、ドイツ人の医者シーボルトが発見し、キセルに似ているのでこの名がつけられました。



18 三田八幡宮の保存樹木
 県下でも大きな巨木が3種あります。棕：県下10番目で幹周り5.7m(左) 榎：県下4番目で幹周り2.4m(中) 鹿子：県下3番目で幹周り2.5m(右)



19 光円寺(浄土真宗)
 三見で1番古い享徳3年(1454)の歴史がある寺院です。開基は(阿武)了善と云います。火災にあわず、貴重な文書が多くあります。



「三見」地名の由来

文治元年(1185)壇ノ浦の戦に敗れた平家の武将「三位中将平重衡」は、安徳天皇を奉じ、河内の坂井浜に上陸、王越山を通り今の三見に入られました。これより、武将の官位「三位」を地名として呼ぶようになったが、いつの頃よりか、書き誤りて「三見」と書くようになりました。



20 明満寺(浄土真宗)
 天文3年(1534)、真宗寺院として創建。開祖了翁は公家山本三位中将の息子・俗名稚業。昭和6年三見市より現在地に移転しました。



21 円徳寺(浄土真宗)
 慶長9年(1604)、萩開祖毛利輝元公に従い、萩に来た木村一貫が創建しました。輝元公母方の祖母岩永の太方様の位牌があります。



22 善照寺(浄土真宗)
 天正9年(1581)光円寺了善が隠居し善照寺の開基となる。現本堂は元治元年(1864)の建築で山門前の大きな石灯籠が目印です。



23 潮音寺(天台宗)
 元文3年(1738)の創建です。萩7代藩主重就公が、馬の遠出に立寄り、本堂の柱に「走馬入りサイ」を記した宝物があります。



24 色雲寺(浄土真宗)
 寛文9年(1669)、光円寺より分かれた寺院で、宿駅町三見市の中心に位置し、殿様が領内巡行のとき本陣として休息されました。



25 浦の六地藏
 昭和40年代までは、婚礼地藏として式のある家に運ばれ祝いました。若い地藏様は、この時過って首を落としたので新調されました。



26 菅蓋のイボ神様
 イボができるお賽銭を供え、歳の数ほどでぐりがえりをして拝む。若し地藏様は、この時過って首を落としたので新調されました。



27 蔵本の瘡地藏
 子供に瘡ができると米粉ダンゴを供え、子供の年の数ほどでぐりがえりをして拝みます。地藏様の顔はこれのためアバタになられました。